

令和6年度 事業計画書

横浜市矢向地区センター

1 鶴見区民地域活動協会の事業方針

鶴見区民地域活動協会は、鶴見区自治連合会が設立した NPO 法人として、地域密着型の組織運営と地域のネットワーク力を活かした事業展開・交流促進を通じて「みんなとつながるまちづくり」を進めます。

第4期指定管理期間（令和4年4月1日～令和9年3月31日）折り返しの年を迎える地区センター等7施設を含め、指定管理8施設及び管理委託4施設では、指定管理者事業計画等に基づいて地域活動・交流の拠点としての役割をいっそう積極的に果たします。

物価高騰や設備の老朽化、コロナ後の利用者離れなど施設を取り巻く状況は厳しいですが、行政はもとより地域、関係団体の皆様の協力を得て、協会の役職員一丸となってサービス向上に努め、安全・安心で利用しやすい施設管理運営に取り組みます。

(1) 地域に信頼される市民利用施設の管理運営

- ・地域の特性やニーズの把握に努め、安全で快適な施設管理運営と質の高いサービス提供を行います。
- ・地域からの職員採用や運営協議会委員の選任により、地域密着型の施設運営を行います。
- ・利用者や地域の声を多様な手段で聴取し、施設運営やサービス向上につなげます。

(2) 地域交流、まちづくりへの支援

- ・地区センターが位置するエリアの連合自治会長を担当事務として配置し、5つの地区センターを核として近隣のコミュニティハウス、こどもログハウスと連携した事業を展開します。
- ・自治会町内会や地域活動団体等と協力・連携して、幅広い層を対象に魅力ある自主事業を展開します。また、協会施設合同の事業を実施します。
- ・新刊書、絵本の積極的購入により魅力ある図書貸出し事業を推進し、「地域の貸本屋」を目指します。

(3) 時代の変化への対応

- ・インターネット予約の利用促進や SNS を活用した情報発信、Wi-Fi 環境の提供など引き続き利用者の利便性向上に取り組みます。
- ・少子高齢化への対応や利用者ニーズの多様化、多文化共生の推進などに対応するため、地域団体及び近隣の施設等と連携して、誰もが利用・参加しやすい事業運営を進めます。



地区センター圏域図(半径約1km)

(4) 行政との協働事業の展開

・施設の維持管理、災害時対応、地域福祉保健計画（あいねっと）の推進、自治会の加入促進など市や区の重要施策に連携して取り組みます。また、区民祭りなどの区主要行事、地域行事等にも積極的に参加・協力します。

(5) 感染対策に配慮した運営

・新型コロナ対応での経験を活かして、引き続き感染対策に配慮しながら事業の実施とサービスの工夫に努めます。また、利用者に混乱等が生じないように丁寧な広報を行います。

(6) 計画推進のための組織運営

・指定管理選定で提案した収支計画に基づいて、利用料金収入や事業収入等の増加を図ります。また、協会のスケールメリットを活かして、人件費や管理事務を一本化し、経費の削減と執行の効率化を進めます。

・光熱水費の高騰や施設の修繕対策では、引き続き、節減や計画的な事務執行に努め、区役所とも緊密に連携を取って対応します。

・職員配置は必要最小限とし、各職員が意欲・能力を最大限に発揮できるよう人材の育成や処遇の改善、職場環境の整備に取り組みます。

(7) 指定管理者選定の準備等

・今夏に予定されている鶴見中央コミュニティハウスの指定管理者選定に当たっては、担当理事等と相談しながら、各館の協力を得て準備を進めます。

・第4期指定管理期間の中間年となる地区センター等7施設では、第三者評価を受審して、さらなる業務の改善とサービス向上につなげます。

2 矢向地区センター施設管理運営の基本方針

地域住民が自主的に活動し相互の交流を深める場として、また、区政運営の基本目標「いつまでも住み続けたいまち 鶴見」の実現に向けて、区の各施策と連携し、管理・運営業務を進めます。矢向地区を中心とした住民の文化活動やまちづくりの拠点としての役割を積極的に担います。利用者ニーズと地域ニーズを常に把握しながら、運営協議会でのご意見を踏まえ、地域コミュニティの醸成、地域活動の活性化に貢献します。

3 組織体制

(1) 人員体制

- ・館長、副館長、主任3名、スタッフ（交代制で14名）の計19名で施設運営を行います。
- ・主任以上の職員とスタッフ（午前・午後・夜間各2名）が常時勤務する体制をとります。

(2) 個人情報保護及び研修体制

- ・「個人情報の保護に関する法律」及び「横浜市個人情報の保護に関する条例」を遵守するよう職員研修を実施します。個人情報の収集は必要最小限とし、適切な管理、目的外利用

の禁止など指導を徹底していきます。また、職員のスキルアップのために、本協会主催の研修を始め外部研修に積極的に参加します。

(3) 緊急時の体制と対応計画

- ・鶴見区、地区町内会長、学校長と連携して緊急時に対応できる体制を確立しています。
- ・合築の矢向地域ケアプラザ、市営住宅と合同で防災訓練を実施します。
- ・職員の95%が近隣在住のため緊急時に対応することが可能です。

4 施設の運営計画

(1) 運営内容

- ・会議室、体育室の利用を公平かつ円滑に運営します。
- ・プレイルーム、図書コーナー、体育室（個人利用）などを無料で利用いただけます。
- ・町内会、学校、地域の組織などの活動拠点として機能します。
- ・多彩なニーズに対応した自主事業を開催します。

(2) 利用促進策<目標含む>

- ・特に子育て、子ども支援の企画を拡充しています。わっくんひろばとのコラボ企画「わっくんひろばがやってきた in 矢向地区センター」や、矢向地区連合町内会と江ヶ崎町内会が主催する「矢向・江ヶ崎子どもフェスタ」を毎年1月に開催し、子育て支援団体との協働事業を行います。
- ・新規利用者を開拓するために定期的な「交流カフェ」の開催を計画しています。稼働率の低い料理室を活用して、地域の方々が交流できるカフェを月に1回のペースで開催する予定です。
- ・鶴見区区政推進課からの依頼で多文化共生情報ラックを設置しました。外国語を話せる職員と矢向小学校、矢向中学校の国際教室の生徒さんにも協力いただき、定期的な情報発信を行っていく予定です。
- ・タウンニュースやCATV（YOU テレビ）等にも積極的に取材を依頼し、露出頻度を増やします。

(3) 利用者ニーズの把握とサービス向上

- ・「利用者の集い」と「利用者アンケート」の結果は掲示して皆様に報告します。
- ・ご意見箱に頂いた利用者からのご意見は、スタッフノートや連絡ノートに記載して全職員に周知・徹底するよう努めます。

5 自主事業計画

(1) 実施方針

- ・地域に密着した地区センターを目指し、各世代やジャンルによるニーズを吟味しながら地域住民が参加したいと思える自主事業を企画・運営します。

- ・横浜市の芸術アクション事業「トリエンナーレ」が令和6年度に延期されたため、アートの魅力を発信するワークショップを予定しています。
- ・ヨコハマベイフィルハーモニーの協力により12月にフルオーケストラの演奏で「ベートーヴェン第九演奏会」を開催します。
- ・活動中の団体で会員数が減少した団体を自主事業でバックアップします。

6 建物の維持管理計画

(1) 進め方、大規模工事の予定等

- ・安全・快適な環境維持及び施設長寿命化の見地から、市役所と連携強化・情報共有を図りながら計画的かつ効果的な保全・更新を進めます。また、小破修繕についても、協会及び施設として引き続き積極的に対応します。
- ・冷温水発生器、冷却塔、監視カメラ、市営住宅からの雨漏り、全館照明LED化、親時計の交換など、改修を要する不具合は繰り返し報告します。

令和6年度 自主事業計画書

募集対象	事業名 (教室名)	開催時期	開催回数	参加人員		自主事業経費			1人あたり参加費		講師謝金		備考 (共催団体・その他)
				募集人数 (人)	延参加 人数(人)	委託料支 出総額 (円)	参加者 負担総額 (円)	総経費 (円)	徴収の 有・無	参加費用 (円)	1回1講師 あたり (円)	1教室講 師謝金額 (円)	
成人	蕎麦打ち教室	4月	1	8	8	25,000	14,400	39,400	有	1,800	5,500	5,500	材料費:14000 保険料:300
幼児親子	にこにこリトミック①	5~9月	8	10	160	60,000	35,000	95,000	有	3,500	5,000	40,000	材料費:3000 保険料:2500
小学生	母の日 フラワーアレンジメント	5月上旬	1	10	10	8,000	8,000	16,000	有	800	5,500	5,500	材料費:8000 保険料:500
幼児親子	英語であそぼ①-A	5~9月	8	12	192	6,000	42,000	48,000	有	3,500	5,000	40,000	材料費:4500 保険料:2500
幼児親子	英語であそぼ①-B	5~9月	8	12	192	6,000	42,000	48,000	有	3,500	5,000	40,000	材料費:4500 保険料:2500
成人	フリーマーケット	5月~8月	1	50	50	15,000	10,000	25,000	有	200	0	0	保険料:5000
自由	ベイフィル公開練習	7月	1	150	150	0	0	0	無	0	0	0	協力:ヨコハマベイフィルハーモニー
小学生	父の日 パン教室	6月	1	8	8	10,000	8,000	18,000	無	1,000	8,000	8,000	材料費:8000 保険料:1000
自由	おもちゃ病院Ⅰ	6月	1	16	16	11,000	0	11,000	無	0	8,000	8,000	雑費:3000
小学生以上	子ども化学教室	7月	1	12	12	10,000	7,200	17,200	有	600	8,000	8,000	材料費:6000 保険料:600
成人	料理教室	9月	1	8	8	10,000	12,000	22,000	有	1,500	8,000	8,000	材料費:12000 保険料:200
小学生以上	社会科見学①	11月	1	10	10	4,000	1,000	5,000	有	100	5,500	5,500	保険料:1000
自由	動画発表会	10月	1			33,000	0	33,000	無				
自由	文化祭(秋まつり)	10月	2	3000		0	0	0	無	0	0	0	ニーズ対応費
障害のあるおこさま、大人、ご家族、付き添いの方	出張プラネタリウム	10月	1	100		0	0	0	無	0	0	0	矢向地域ケアプラザ共催
幼児親子	英語であそぼ②-A	10~2月	8	12	144	17,000	42,000	59,000	有	3,500	5,000	40,000	材料費:10000 保険料:2500
幼児親子	英語であそぼ②-B	10~2月	8	12	144	17,000	42,000	59,000	有	3,500	5,000	40,000	材料費:10000 保険料:2500
幼児親子	にこにこリトミック②	10~2月	8	12	192	17,000	42,000	59,000	有	3,500	5,000	40,000	材料費:3000 保険料:2500
成人	健康チェック	11月	1	10	10	25,000	5,000	30,000	有	500	8,000	8,000	材料費:2500 保険料:3000
成人	秋の陶芸教室	11月	3	15	45	30,000	45,000	75,000	有	3,000	5,000	30,000	材料費:45000
成人	クリスマスリース	11月	1	10	10	7,000	20,000	27,000	有	2,000	5,500	5,500	材料費:20000 保険料:1000
小学生	小学生のあそびーば クリスマス	12月	1	20	60	10,000	0	10,000	無		0		材料費:8500 保険料:1500
成人	料理教室	12月	1	12	12	17,000	17,400	34,400	有	1,450	8,000	8,000	材料費:22000 保険料:500
自由	ベイフィルハーモニー第九演奏会	12月	1	150	150	0	0	0	無	0			協力:ヨコハマベイフィルハーモニー
自由	おもちゃ病院Ⅱ	12月	1	16	16	11,000	0	11,000	無	0	8,000	8,000	雑費:3000
中学生以下のおこさま、ご家族	矢向・江ヶ崎 子どもフェスタ	1月	1	600		0	0	0	無	0	0	0	主催:矢向地区連合町内会、江ヶ崎町内会 共催:鶴見区
成人	手作り味噌	1月	1	8	8	15,000	20,000	35,000	有	2,500	8,000	8,000	材料費:22000 保険料:500
小学生	ワックンカルタ大会	2月	1	48	48	0	0	0	無	0			ニーズ対応費
自由	おもちゃ病院Ⅲ	2月	1	16	16	11,000	0	11,000	無	0	8,000	8,000	雑費:3000
成人	使ってみよう地区センター	4期	8	80	80	0	0	0	無	0			サークル支援事業
成人	パソコン相談	第2水曜	12	10	60	0	0	0	無	0			つるみパソコンボランティア協会
幼児親子	矢向子育て相談	毎週木曜	48	20	480	0	0	0	無	0			こども家庭支援課
未就学児	絵本とわらべうた	第3水曜	11	20	165	0	0	0	無	0	11,100	11,100	絵本とともだち
小学生	小学生のあそびーば	通年	4	15	60	15,000	0	15,000	無	0	0	0	材料費:15000
小中高生	小中高生の自習室	通年	50	3	150	0	0	0	無	0	0	0	
合計				207		2,516	390,000	413,000	803,000			375,100	

自主事業に要した総経費は、指定管理料(自主事業費)から充当した額と参加者負担額等の合計となります。

令和6年度 「横浜市矢向地区センター」 収支予算書兼決算書
(R6. 4. 1~R7. 3. 31)

収入の部

(税込、単位：円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料	40,441,000		40,441,000		40,441,000	横浜市より
利用料金収入	4,099,000		4,099,000		4,099,000	
自主事業（指定管理料充当の自主事業）収入	413,000		413,000		413,000	
自主事業収入	0		0		0	
雑入	487,000	0	487,000	0	487,000	
印刷代	90,000		90,000		90,000	
自動販売機手数料	396,000		396,000		396,000	
駐車場利用料金収入	0		0		0	
その他（広告ラック収入・預金利息）	1,000		1,000		1,000	
収入合計	45,440,000	0	45,440,000	0	45,440,000	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	23,222,000	0	23,222,000	0	23,222,000	
給与・賃金	21,262,000		21,262,000		21,262,000	館長・副館長及び時給職員19名
社会保険料	1,300,000		1,300,000		1,300,000	
通勤手当	500,000		500,000		500,000	常勤職員・時給職員
健康診断費	40,000		40,000		40,000	常勤職員・時給職員
勤労者福祉共済掛金	120,000		120,000		120,000	
退職給付引当金繰入額	0		0		0	
事務費	1,787,000	0	1,787,000	0	1,787,000	
旅費	5,000		5,000		5,000	出張旅費
消耗品費	700,000		700,000		700,000	事務消耗品費
会議賄い費	30,000		30,000		30,000	
印刷製本費	0		0		0	
通信費	170,000		170,000		170,000	電話代・郵送料等
使用料及び賃借料	82,000	0	82,000	0	82,000	
横浜市への支払分	82,000		82,000		82,000	目的外使用料等
その他			0		0	リース経費等
備品購入費	160,000		160,000		160,000	
図書購入費	0		0		0	
施設賠償責任保険	19,000		19,000		19,000	
職員等研修費	6,000		6,000		6,000	
振込手数料	10,000		10,000		10,000	
リース料	175,000		175,000		175,000	
手数料	430,000		430,000		430,000	
地域協力費	0		0		0	地域イベントの協力費等
事業費	803,000	0	803,000	0	803,000	
自主事業（指定管理料充当の自主事業）費	803,000		803,000		803,000	
自主事業費	0		0		0	イベントの実施
管理費	15,942,000	0	15,942,000	0	15,942,000	
光熱水費	9,222,000	0	9,222,000	0	9,222,000	
電気料金	4,773,000		4,773,000		4,773,000	
ガス料金	2,189,000		2,189,000		2,189,000	
水道料金	2,260,000		2,260,000		2,260,000	
清掃費	2,650,000		2,650,000		2,650,000	日常・定期清掃費
修繕費	750,000		750,000		750,000	
機械警備費	250,000		250,000		250,000	
設備保全費	3,070,000	0	3,070,000	0	3,070,000	
空調衛生設備保守	1,078,000		1,078,000		1,078,000	
消防設備保守	153,000		153,000		153,000	
電気設備保守	1,430,000		1,430,000		1,430,000	
害虫駆除清掃保守	35,000		35,000		35,000	
駐車場設備保全費	0		0		0	
その他保全費	374,000		374,000		374,000	ピアノ、音響、コピー機保守費
共益費	0		0		0	
公租公課	1,580,000	0	1,580,000	0	1,580,000	
事業所税	0		0		0	
消費税	1,580,000		1,580,000		1,580,000	
印紙税	0		0		0	
その他（ ）	0		0		0	
事務経費（計算根拠を説明欄に記載）	740,000	0	740,000	0	740,000	
本部分	740,000		740,000		740,000	労務・経理等の本部事務経費
当該施設分	0		0		0	
二一ズ対応費	1,366,000	0	1,366,000	0	1,366,000	
支出合計	45,440,000	0	45,440,000	0	45,440,000	
差引	0	0	0	0	0	

自主事業費収入	413,000			0		
自主事業費支出	803,000			0		
自主事業収支				0		
管理許可・目的外使用許可収入	396,000			0		
管理許可・目的外使用許可支出	82,000			0		
管理許可・目的外使用許可収支				0		

令和 6 年度 矢向地区センター 自己評価表

目標設定の視点	計画内容及び運営目標	計画内容及び運営目標に対する実績	今後の取組(改善計画)	自己評価
利用者サービス	<p>(2)イ〈地域ニーズ・地域特性〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域住民が自主的に活動し相互の交流を深める場として、また、区政運営の基本目標「いつまでも住み続けたいまち 鶴見」の実現に向けて、区の各施策と連携・協力して管理・運営業務を進めます。 ・矢向地区を中心とした住民の文化活動やまちづくりの拠点としての役割を積極的に担います。 ・利用者ニーズと地域ニーズを常に把握しながら、運営協議会でのご意見を踏まえ、地域コミュニティの醸成、地域活動の活性化に貢献します。 			
	<p>(2)ウ〈公の施設としての管理〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・横浜市地区センター条例に基づき利用者の人権、利用者目線、公平・透明な利用ルールとします。 			
	<p>(4)エ〈利用者ニーズ把握と運営への反映〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「利用者の集い」と「利用者アンケート」の結果は掲示して皆様に報告します。 ・ご意見箱に頂いた利用者からのご意見は、スタッフノートや連絡ノートに記載して全職員に周知・徹底するよう努めます。 			
業務運営	<p>(3)ア〈管理運営及び緊急時対応〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・館長、副館長、主任 3 名、スタッフ（交代制で 14 名）の計 19 名で施設運営を行います。 ・主任以上の職員とスタッフ（午前・午後・夜間各 2 名）が常時勤務する体制をとります。 ・鶴見区、地区町内会長、学校長と連携して緊急時に対応できる体制を確立しています。 			

	<ul style="list-style-type: none"> ・合築の矢向地域ケアプラザ、市営住宅と合同で防災訓練を実施します。 ・職員の 95%が近隣在住のため緊急時にかけることが可能です。 			
	<p>(4)イ〈利用促進策〉業務点検報告書 様式 2 より</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特に子育て、子ども支援の企画を拡充しています。わっくんひろばとのコラボ企画「わっくんひろばがやってきた in 矢向地区センター」や、矢向地区連合町内会と江ヶ崎町内会が主催する「矢向・江ヶ崎子どもフェスタ」を毎年 1 月に開催し、子育て支援団体との協働事業を行います。 ・新規利用者を開拓するために定期的な「交流カフェ」の開催を計画しています。稼働率の低い料理室を活用して、地域の方々が交流できるカフェを月に 1 回のペースで開催する予定です。 ・タウンニュースや CATV (YOU テレビ) 等にも積極的に取材を依頼し、露出頻度を増やします。 			
	<p>(4)キ〈本市重要施策に対する取り組み〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「子育てしたいまち次世代を共に育むまちヨコハマ」の実現に向けて、子育て支援事業の拡充を図ります。 ・鶴見区区政推進課からの依頼で多文化共生情報ラックを設置しました。外国語を話せる職員と矢向小学校、矢向中学校の国際教室の生徒さんにも協力いただき、定期的な情報発信を行っていく予定です。 ・地域コミュニティのコア施設として自治会町内会や各関連機関と連携し活動します。 			
	<p>(5)〈自主事業計画〉業務点検報告書 様式 5 より</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域に密着した地区センターを目指し、各世代やジャンルによるニーズを吟味しながら地域住民が参加したいと思える自主事業を企画・運営します。 			

様式 13

	<ul style="list-style-type: none"> ・横浜市の芸術アクション事業「トリエンナーレ」が令和 6 年度に延期されたため、アートの魅力を発信するワークショップを予定しています。 ・ヨコハマベイフィルハーモニーの協力により 12 月にフルオーケストラの演奏で「ベートーヴェン第九演奏会」を開催します。 ・活動中の団体会員数が減少した団体を自主事業でバックアップします。 			
	<p>(6)〈施設維持管理計画〉業務点検報告書様式 6~10 より</p> <ul style="list-style-type: none"> ・安全・快適な環境維持及び施設長寿命化の見地から、市役所と連携強化・情報共有を図りながら計画的かつ効果的な保全・更新を進めます。また、小破修繕についても、協会及び施設として引き続き積極的に対応します。 ・冷温水発生器、冷却塔、監視カメラ、市営住宅からの雨漏り、全館照明 LED 化など、改修を要する不具合は繰り返し報告します。 			
職員育成	<p>(3)イ〈個人情報保護の体制・職員研修計画〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「個人情報の保護に関する法律」及び「横浜市個人情報の保護に関する条例」を遵守するよう職員研修を実施します。個人情報の収集は必要最小限とし、適切な管理、目的外利用の禁止など指導を徹底していきます。また、職員のスキルアップのために、本協会主催の研修を始め外部研修に積極的に参加します。 			
財 務	<p>(7)ア〈収入計画〉業務点検報告書 様式 1 より</p> <ul style="list-style-type: none"> ・臨時の休館や時短営業が無いことを前提として利用料金収入 4,099 千円 稼働率 59%を目標とします。 <p>〈支出計画〉業務点検報告書 様式 3 より</p> <ul style="list-style-type: none"> ・活動協会経理規定に基づく最小経費を実施します。 ・事務用品等の消耗品経費の節減を行います。 			
その他 (上記 4				

様式 13

つの視点 以外の項 目があれば 追記)				
利用者等 の意見				

《自己評価》

- A：計画、目標を上回って実施
- B：計画、目標を保持して実施
- C：計画、目標を下回って実施

※「利用者等の意見」は、計画内容及び運営目標欄に利用者等から寄せられた意見・要望を、計画内容及び運営目標に対する実績・今後の取組（改善計画）欄に意見等に対する対応を記載